

まちの話題

脊振山山開き

6月25日、脊振山（標高1055m）の山開きが、脊振神社で行われました。

脊振町観光協会や行政関係者ら約40人が参加しての神事が行われ、シーズン中の登山者の安全を祈願しました。



ふるさとの発展に 思いを込め

ふるさと納税

ふるさと納税の第1号として、佐藤正治さん（脊振町）から10万円の寄附がありました。

佐藤さんは、旧脊振村議会議員として、ふるさとの発展に貢献されています。

7月7日に行われた贈呈式では、佐藤さんのふるさとへの思いに対し、市長がお礼を述べ、神埼にちなんだお礼の品を贈りました。



ふるさと納税は、地方税法が改正され、寄付金税制を拡充する形でスタートしました。ふるさと納税の使い道は、ご指定いただけます。

◎問い合わせ先

神埼市役所 政策推進課
☎ 3710102

政策に市民の意見を



子育てに役立てて

6月12日、おゆずり会が神埼町保健センターで行われました。神埼市母子推進員の呼びかけに多くの育児用品、子どもの服などが寄せられ、子育て中の方にもらわれていきました。提供していただいた皆さん、ありがとうございます。

おゆずり会は、夏と冬のシーズン前の年2回計画されています。次回の開催などについては、各戸チラシや市報などでお知らせします。



神埼市が抱える政策課題について、市民の観点から政策提言を行い、市民の視点に立った市政を推進するため、政策推進委員会が設置されました。

7月4日の第一回委員会では、公募委員を含む13人の委員と2人のアドバイザーが出席し、神埼市総合計画の内容などについて市長をはじめ幹部職員と意見交換を行いました。

今後は、月1回程度、毎回テーマを決めて開催される予定です。

子どもたちに地元食材を

6月16日、千代田中部小学校で、学校給食試食会が行われました。

試食会では、三神農業改良普及センター、担当栄養士の講話があり、参加者らは、自然の中で育つ野菜の素晴らしさを学びました。



「学校給食に生産者の見える地元食材を」というPTAの思いから、平成19年から青年農業者（4Hクラブ）が作る野菜を給食に取り入れられています。

翌日は、4Hクラブの食材を使ったカレーが給食に登場しました。具材に使われた野菜がどうやって育ったのかなどをクラブ員から説明を受け、美味しくうにカレーをほおぼっていました。

【決勝試合結果】

○1部

中部少年	0	0	0	1	2	0	3
東部少年	0	1	0	0	1	0	2

(中部)八谷-松永
(東部)清松-江頭

○2部

西郷少年	0	0	0	2	0	2
仁比山少年	3	0	0	0	×	3

(西郷)菱岡-天本
(仁比山)古賀-橋口

1部
千代田中部少年野球ク 3-0
千代田西部少年野球ク、千代田東部少年野球ク 10-2 西郷少年野球ク
2部
仁比山少年野球ク 3-3 神埼球友ク (抽選で仁比山少年クの勝)、西郷少年野球ク 10-1 千代田西部少年野球ク

【準決勝試合結果】

(「クラブ」は、「ク」と略)

6月29日、7月5日に千代田町筑後川運動公園グラウンドで第3回神崎市長杯少年野球大会が行われました。
市内の小学生クラブから1部2部(1部に出場していない5年生以下)にそれぞれ6チームが出場し、力強いバッティングや、懸命にボールに飛びつく姿など、白熱した試合を繰り広げました。

神崎市長杯少年野球大会



▲ 2部優勝 仁比山少年野球クラブ



▲ 1部優勝 千代田中部少年野球クラブ

エコカーで環境問題を学ぶ



6月の環境月間にちなみ、19日、脊振小学校で「エコ総合学習」が行われました。
講師は、ブリヂストン佐賀工場(上峰町、菊池正美工場長)の皆さん。3年生から6年生までの72人が、現在の地球環境などについての話を聞いた後、これからの地球にやさしい車とタイヤについて2班に分かれて体験学習しました。
子どもたちは、転がりやすいタイヤとそうでないものをつけた車を作って走らせたり、日本に数台しかない水素と酸素の化学反応で電気を起こして走るエコカーに試乗したりしました。

夏の交通安全県民運動期間の初日の7月9日、千代田町交通安全協会(石井輝男会長)から、町内の3小学校に横断旗が、手渡されました。
この横断旗は、千代田町内の皆さんから頂いた交通安全協会費の一部で購入されたものです。渡された旗は、横断歩道などに設置され、子どもたちの交通安全に役立てられます。

子どもたちの安全のために



吉野ケ里へ続く道に彼岸花を

6月13日、神埼建設業協会(牟田正明会長)が、吉野ケ里歴史公園の西側を流れる三本松川沿いに彼岸花の球根を植えました。

加盟する全17社から約30人が参加。草刈り機で草を切り、くわを使って土を掘り起こすなどをした後、堤防ののり面に彼岸花の球根を5,000株植えました。

同協会は、吉野ケ里歴史公園に続く道の景観美化に努め、彼岸花を植えるのは今年で3回目。秋には花を咲かせた彼岸花が見られそうです。



国家公務員が実地体験

6月9日から13日までの5日間、国家公務員の地方自治体実地研修として、3人を受け入れました。

この研修は、実務を体験することで、地方の実態について理解し、地域の多様性、生活実態、住民ニーズなどについて認識し、行政の役割や公務員としての幅広い視野を養うことを目的に実施されています。

3人は、窓口や保育体験など現場における実務体験や、定例議会の傍聴、財政状況や総合計画による地方自治体の現状や課題など多くの事を学びました。各省に戻られた後、神埼市での体験を生かされることを期待しています。



▶左から遠藤さん(文部科学省)長谷川さん(環境省)、鈴木さん(経済産業省)

キャラバン隊 啓発活動

7月3日、社会を明るくする運動キャラバン隊の出発式が、神埼市役所で行われ、法務大臣と佐賀県知事からのメッセージがキャラバン隊から市長へ伝達されました。その後、神埼地区の保護司など約30人が、広報車で地区内に呼びかけを行うなどの広報活動が行われました。

この啓発活動は、7月の強調月間にあわせて行われたもので、19日には、神埼市の實松信子教育長による「いま、子どもを囲

高齢者の交通事故防止へ

7月4日、高齢者交通安全指導者の委嘱式が、神埼警察署で行われました。

委嘱されたのは、千代田町の高志地区老人クラブ「明治会」の7人で任期は、1年間。

老人クラブの会合などでの交通安全指導、交通危険箇所の点検、老人クラブ未加入高齢者などへ事故防止を呼びかけるなど、高齢者の交通事故防止に取り組めます。

むもの」と題した神埼地区の講演会が、神埼市中央公民館で行われました。



人命救助の2人に感謝状

7月4日、クリークに転落した車の運転手を助け出した志岐悟さん(神埼町)と中山利明さん(吉野ヶ里町)に、神埼地区消防事務組合(森重喜消防長)から感謝状が贈られました。

2人は、6月13日、千代田町崎村の道路沿いのクリークに転落した車を見つけ、車外に抜け出して助けを求めていた運転手の女性を救出されました。

寄付

社会教育施設の鳥羽院山荘に内村重人さんと山口俊美さん(脊振町)から大型扇風機2台を寄付していただきました。

夏場のシーズンは、施設利用者も多いので、大活躍することが期待されます。



神埼建設業協会(牟田正明会長)から、市内で行われるイベントに使用してほしいと30万円の寄付がありました。



ありがとうございました。

進めよう！ 男女共同参画

男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題といわれています。

◆男女共同参画社会とは？

男性とか女性とかの性別に関係なく、誰にでもやりたいことに取り組むチャンスが与えられ、個人の能力や努力に応じて利益が受けられ、責任も同じように担う社会のことです。

1999年に制定された男女共同参画社会基本法第2条では、男女共同社会はどんな社会であるかを次のように定義しています。

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会



◆家庭の姿は？

・家族の一人ひとりの個性が大切にされ、豊かで充実した生活を送っている。

・多様な保育サービスや介護サービスを受けながら、男女が共に家事・育児・介護などに参画し、喜びも苦労も分かちあっている。

例えば、家事や育児を、母親など一人だけに任せるのではなく、父親をはじめ家族みんな分担すれば早くすませることができ、家族のコミュニケーションをとることができま

◆地域社会の姿は？

・古い習慣やしきたりにとらわれず、一人ひとりの考え方や行動が尊重されている。

・男女が共に地域の方針決定に参画し、豊かで住みよい地域づくりに貢献している。
・地域でも希望するすべての活動に参加でき、自由に意見が言えるような社会

◆職場の姿は？

・募集・採用、昇進・配置、賃金などでの男女格差が解消され、方針決定の場への女性の参画が進み、男女が共に個性や能力を發揮して、生き生きと活躍している。

◆男女共同参画社会の実現へ向けて

我が国は、少子高齢化の進展、経済の成熟化、国際化、情報通信の高度化、家族形態の多様化など社会経済情勢が大きく変化しています。

男女平等が憲法で保障されていますが、男女がともに個性と能力を發揮できる社会にしたい、かなと社会全体の活力がなくなっていくおそれがあります。皆さんも男女共同参画社会の実現に向けてご協力をお願いします。

☆ことばの知識

「参画」とはどんな意味？
「参画」とは、単なる参加ではなく、より積極的に意思決定過程に加わるといった意味が込められています。

女性のための相談室

○とき 8月6日(水)、9月3日(水)
13:30 ~ 16:30

○ところ 神埼市中央公民館 2階 相談室
相談は無料です。秘密は厳守します。

◎問い合わせ先
神埼市男女共同参画推進ネットワーク代表 高柳 ☎ 52-4709
神埼市役所 企画課 ☎ 37-0102

男の家事川柳コンテスト・フォトコンテスト作品募集

男性が家事・育児に取り組んでいる様子を詠んだ川柳と写真を募集します。

○応募資格
県内在住、在勤、在学の方(写真については、アマチュアの方)

○募集締切日 9月10日(水)

◎応募・問い合わせ先
〒840-0815
佐賀市天神三丁目2-11
アバンセ事業部「川柳コンテスト・フォトコンテスト」係
☎ 26-0011
Eメール joseri@manabisaiga.jp

水車の里遊学館ギャラリー



※2階ギャラリーで作品展を希望される個人、団体を募集しています。希望される方は、使用日の10日前までに申込書を提出してください。

○1階東側ギャラリー

とき	内容	材料費・準備品	主催
8月23日(土) 13:30 ~ 14:30	心に響く・・・なつかしい歌の協和音 なつかしい歌を歌おう会 「朝はどこから」「夕日」「長崎の鐘」など楽しく歌いましょう♪	・100円 (お茶代)	心の愛唱歌を 歌い継ぐ会 清流 裕子 相良 紀美子

開館時間 9:00 ~ 16:00
休館日 毎週火曜日
8月13日(水) ~ 15日(金)

◎申込・問い合わせ先
水車の里遊学館 ☎ 53-8884
神埼市役所 企画課 ☎ 37-0102